

都市再生整備計画 事後評価シート  
阪神甲子園駅周辺地区

令和 3年3月

兵庫県 西宮市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	兵庫県	市町村名	西宮市	地区名	阪神甲子園駅周辺地区			面積	19.5ha
交付期間	平成27年度～令和元年度	事後評価実施時期	令和2年度	交付対象事業費	663.75百万円	国費率	0.4		

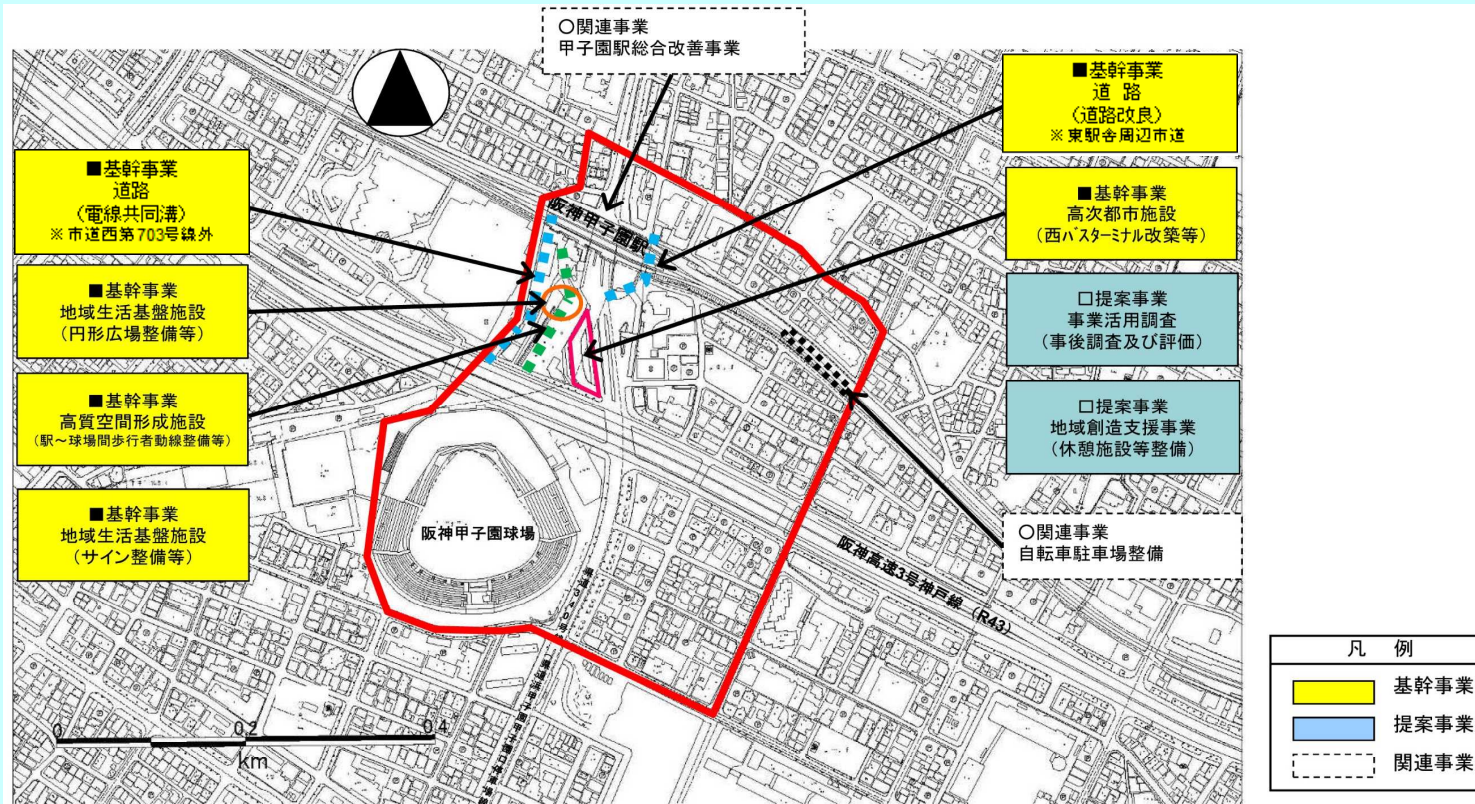
				事業名						
		当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(東駅舎周辺市道)、地域生活基盤施設(円形広場整備等、サイン整備)、高質空間形成施設(駅～球場間歩行者動線整備等)、高次都市施設(西バスターミナル改築等)							
		提案事業	地域創造支援事業(休憩施設等整備)、事業活用調査(事後調査及び評価)							
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(自転車駐車場整備等)	民間事業者の費用負担により整備したため、都市再生整備計画事業としては中止			影響なし			
			高質空間形成施設(無電柱化)	当初無電柱化を他の方式で予定していたが、関係機関との協議により電線共同溝方式で実施することとなったため、基幹事業・道路(市道西第703号線外)に変更した			影響なし			
		提案事業	なし							
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(市道西第703号線外)	当初は高質空間形成施設(無電柱化)として整備予定であったが、関係機関との協議により電線共同溝方式で実施することとなったため追加			影響なし			
		提案事業								
	交付期間の変更	当初	平成27年度～平成31年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響					
変更		平成27年度～令和元年度								

2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		単位	基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
指標1	歩行者交通量	人	686	H26	754	R1		2,335	○		駅から球場に至る歩行者動線の美装化による快適でゆとりある駅前空間や円形広場ゾーンの整備等により、歩行者通行量が大きく増加した。	
指標2	歩行環境への満足度	%	25	H26	30	R1		88	○		駅舎から阪神甲子園球場に至る歩行者動線の強化により歩行者等の安全性の向上とゆとりのある歩行空間の確保を図った結果、利用者の歩きやすさや安全性に対する満足度が大きく増加した。	
指標3												
指標4												

	指標		従前値	目標値	数 値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
	その他の 数値指標1	その他の 数値指標2	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み			
3) その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況											
4) 定性的な効果 発現状況	コロナ禍ではあったが、快適な駅前空間の確保や景観の向上により、来街者にとって施設への満足度が高まった。										
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
	住民参加 プロセス	関係自治会に事業内容等について随時確認を行う		都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●		活動支援ヒアリングについては、今後も地域住民及び団体と連携し、活動支援内容の精査に取り込む。		
	持続的なまちづくり 体制の構築	スポーツを核とした甲子園エリア活性化推進協議会の設置に向けた支援を行う		都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●		当該組織が主となり、多種多様な活動を展開できるよう、今後も活動支援を行う。		

様式2-2 地区の概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
県内有数の集客施設である阪神甲子園球場への玄関口となる阪神甲子園駅の駅舎改善事業に伴い、駅前空間の再生を行う。 ①賑わいとうるおいのある駅前空間の整備 ②駅周辺部の安全で円滑な歩行空間の確保	歩行者交通量	人	686	H26	754	R1	2,335	R2
	歩行環境への満足度	%	25	H26	30	R1	88	R2



まちの課題の変化

- ・駅前空間の賑わいやうるおいの創出等、安全で活気のある公共空間の形成による快適性の向上、またそれらの公共空間の形成に付随した歩行者空間の動線強化、野球開催時の安全な歩行者処理等が地域の課題であったが、賑わいとうるおいのある駅前空間の整備、駅周辺部の安全で円滑な歩行空間の確保に向け、歩行環境への改善につながり、来訪者が増えた。
- ・また、鉄道陸橋下通路の歩行者、自転車、自動車等の輻輳の問題や老朽化した施設が、かねてより地元から問題視されていたが、今回の事業により、景観及び快適性の向上が図られた。

今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)

- ・甲子園球場が位置する本地区の地域特性を踏まえ、アフターコロナにおいても、野球開催時と平時のそれぞれの公共空間の特性を活かした駅前空間の形成が求められている。